

# 教育心理部実践提案

— 小笠原淳 —

## 1 これまでの教育心理部の取組

### 教育心理部で大切にしてきたこと

教育心理部では、「児童生徒一人一人が集団に適応できるようになること」を本質とし実践を重ねてきた。本質に向かって研究を進めるに当たっての実践を支えるものとして以下の二つを設定した。

一つ目は、社会的情報処理理論をもとにした実践である。社会的情報処理理論とは、Crick & Dodge (1994)らがまとめた研究で、対人関係における状況や他者の心的状態に対する理解や反応行動等を「符号化」「解釈」「目的の明確化」「反応構成」「反応決定」「実行」の六つのステップにまとめ、理解しやすくしたものである。

二つ目は、SEL の考え方をもとにした実践である。SEL は「Social Emotional Learning = 社会性と情動の学習」、つまり「自己の捉え方と他者との関わり方を基本とした、社会性（対人関係）に関するスキル、態度、価値観を育てる」ことを目的とした多数の心理教育プログラムの総称で、子供たちの問題行動の減少、学力向上などが期待できるとされている。

今回の実践では、プログラムを作成する際の課題となる部分を見いだすために、まず本校の児童生徒一人一人の実態を詳細に把握することに努めた。そして、社会的情報処理理論と SEL の考え方を基に、見いだした課題を克服することを目指したプログラムを構成し、実践しようとした。

## 2 自己実現に向かう資質・能力にかかわる手立て

### (1) 問題解決力について

- ・ 人間関係に関わる諸問題を解決するために考え、判断し、行動しようとする姿
- ・ よりよい人間関係をつくるために、仲間の気持ちの捉え方を広げようとする姿

日常生活の中で起こっている人間関係の諸問題を解決し、よりよい人間関係をつくるためのポイント（スキル）を「①相手や状況を知る②目標を決める③たくさんの解決方法から選ぶ④やってみる⑤振り返る」と整理し、そのサイクルを身に付けることで、諸問題の解決を図ることができる力を

付けられるようにする。授業の流れをこのサイクルに合わせて仕組むようにした。

### (2) 関係構築力について

よりよい人間関係を築こうとする仲間の言動や気持ちを理解し、対話を通して、人間関係に関わる諸問題を乗り越えようとする姿

他者との関係を築く上で、他者と対話することは、必要不可欠であることから、対話を重ねるときに必要なルールやスキルを身に付けられるようにした。例えば、ルールとして「相手が傷つく言葉を言わずに話を聞こう」といったものや、相手を配慮した聞き方のスキルとして「人の話は最後まで聞こう」「相手の目を見て話を聞こう」などがある。さらに、考えを広げるときには「黙っている人の意見も聞いてみよう」といったスキルを、まとめるときには「譲り合って意見をまとめよう」というスキルなどを、話し合いの内容がより充実していく中で身に付けていく。

### (3) 貢献する人間性について

よりよい人間関係、自分の強みや弱みに気づき、仲間と幸せに生活するためには自分ができることは何かを考えようとする姿

#### ①今までの自分を振り返る。

主に授業の導入時に、「自分だったらどのように考えるか」と問いかけて、そのときの言動と気持ちについて考えられるようにした。そうすることによって、問題場面を自分の問題として捉えることができるようになる。

#### ②授業を通して、これからの自分ができそうなことを考える。

自分がどのように貢献していけばよいのかを考える前提として、まずよりよい人間関係を築こうとしたときに「自分ができそうなことは何か」を考えられるようにする。プログラムの終末で、考える場面を位置付け、ペアで互いに伝え合ったり、プリントに記述で書き残していくことで変容に気付いたりできるようにした。

### 3 題材の指導計画

学年	第1学年	単元名	なかまづくりの時間（全3時間）
<b>単元で育む資質・能力</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい人間関係にするために必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けることができるようにする。〔知識及び技能〕</li> <li>・人間関係に関わる諸問題を見だし、解決するために話し合い、行動を決定することができるようにする。〔思考力、判断力、表現力等〕</li> <li>・人間関係をよりよくしようと、自分の生活について見つめ、自分ができることは何かを考えようとする態度を養う。「学びに向かう力、人間性等」</li> </ul>			
時	主な学習活動とねらい		自己実現に向かう資質・能力を発揮している姿
①	感情を表す言葉には様々なものがあることを理解し、自分の気持ちについて、感情を表す言葉を使って表すことができる。		自分の気持ちについて、感情を表す言葉を使って仲間に伝えようとする姿（関係構築力）
②	人間関係に関わる諸問題の状況をつかみやすくするために、「すがた」と「こころ」に区別して、状況を整理すればよいことを理解できる。		状況を「すがた」と「こころ」に区別してつかみ、問題がどこにあるのかを考えようとする姿（問題解決力）
③ 本時	人間関係に関わる諸問題の状況をつかむことを通して、問題解決のためには、相手が笑顔になるよう最適な行動を考え、判断し、実行できるようにする。		対話を通して、仲間の言動や気持ちを理解し、人間関係に関わる諸問題を乗り越えようとする姿（関係構築力）
<b>研究にかかわる見届けの視点と手立て</b>			
問題解決力	問題解決を図るために「相手や状況を知る」「たくさんの解決方法から選ぶ」ことができているかを見届ける。仲間づくりの時間において、よりよい人間関係をつくるためのサイクルで授業を展開し、知ったり選んだりするときに必要なスキルを示す。		
関係構築力	対話を重ねるときに必要なルールやスキル（「相手が傷つく言葉を言わずに話を聞こう」「人の話は最後まで聞こう」など）を実行しているかどうかを見届ける。話し合いの場面において、教師がモデルを示すことで、繰り返し実行できるようにする。		
貢献する人間性	よりよい人間関係を築こうとしたときに「自分ができるようなことは何か」を考えているかを見届ける。授業の終末で考える場面を位置付け、ペアで互いに伝え合ったり、プリントに記述で書き残していくことで変容に気付いたりできるようにする。		

#### 4 教科にかかわる本時のねらい

人間関係に関わる諸問題の状況をつかみ、課題を設定することを通して、相手が笑顔になるよう最適な行動を考え、判断し、実行することができる。

[思考力、判断力、表現力等]

#### 5 本時の展開 (3/3)

児童の学習活動	教師の手立てと見届け
<p><b>1 場面及び問題を把握する</b></p> <p>○場面絵を見せ、様子を言葉で伝える。「図画工作の時間、花子は長い時間かけて一生懸命描いた絵を太郎に見せる。太郎は、何も言わずに通る。」</p> <p>○このときの花子は、どんな気持ちかな。 ・がっかりした ・何も言われなくて、つらかった。</p> <p>○太郎が話しかけたら、花子はどうなるかな。 ・嬉しくて、笑顔になれそう。</p> <p><b>2 目標を設定する</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なかまが えがおに なるように はなしかけよう。</p> </div> <p><b>3 よりよい行動を選ぶ・決める (まとめる)</b></p> <p>○太郎の言葉をいくつか提示し、そのときの花子の気持ちと表情を想像する。</p> <p>○太郎「これヒマワリの花？ぼく分からなかったよ。」 ・花子は悲しい気持ち。もう描きたくない。</p> <p>○太郎「ふーん、がんばったんだね。」 ・花子はあまり嬉しくない。もやもやした気持ち。</p> <p>○太郎「たくさんお花が描いてあって、きれいな絵だね。」 ・花子は嬉しくて、笑顔になれる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なかまの がんばったところを みつけて はなしかけると、 なかまは えがおに なる。</p> </div> <p><b>4 決めた行動をやる</b></p> <p><b>5 振り返る</b></p> <p>・今日の活動は楽しかったです。どうしてかという、仲間が笑顔になるために頑張ったところを見つけて話しかければよいことが分かったからです。</p> <p>・同じようなことがあったら、自分も太郎さんみたいに声をかけることができそうだと思います。</p>	<p>○「すがた」「ころ」に分けて場面を整理し、問題となっているところがどこであるかを捉えやすくする。</p> <p>・教師が問題場面を演じることにより、非言語情報にも注目できるようにする。</p> <p>○「自分だったらどんな気持ちになるのか」と問うことで、より問題意識を高める。</p> <p>○いくつかの行動から、問題解決に最適な行動を選び、決めるという仕組みを大切にする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>研究に関わって</b></p> <p><b>【見届けの視点】</b></p> <p>対話を通して、仲間の言動や気持ちを理解し、人間関係に関わる諸問題を乗り越えようとする姿を話しかける様子から見届ける。</p> <p style="text-align: right;">(関係構築力)</p> </div> <p>・ペアで場面を繰り返すことと、モデルを見る場面を設定することで、よりよい関わり方を身に付けられるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【評価規準】</b></p> <p>相手が笑顔になるために最適な行動を考え、判断し、実行している。 [思考・判断・表現]</p> </div>